

観劇へのお誘い

収益事業委員会
2019年2月10日

節分も過ぎ春の訪れが感じられる頃となってまいりました。皆様お変わりなく過ごしてでしょうか。さて、新年度に向けて新しい企画のお知らせを申し上げます。5月12日(日)文楽の通し狂言「妹背山婦女庭訓」第一部を、また6月27日(木)能・狂言 船弁慶他を鑑賞することにいたしました。なにかとお忙しいとは存じますが、皆様のご予定にお入れいただき、多数のご参加をお待ちいたします。また、会員外の方も歓迎いたしますので、お誘いくださいますようお願い申し上げます。

☆ 国立小劇場 文楽公演

○ 日時 5月12日(日) 第一部 開演 10:30

○ 場所 国立小劇場

演目 『妹背山婦女庭訓』(いもせやまおんなていきん)

大序 ・大内の段 ・小松原の段 ・蝦夷子館の段

二段目 ・猿沢池の段 ・鹿殺しの段 ・掛乞の段 ・万歳の段 ・芝六忠義の段

三段目 ・太幸館の段

蘇我入鹿を大罪人として、その巨悪を倒すべく苦心するスケールの大きなドラマとなっている。入鹿の誕生も尋常ではない。

二段目、神鹿殺しの罪を着て年若な息子が捕えられた後の父母の愁嘆場。

また、危険を避けて逃れ来た帝が盲目なのを幸いに貧しい家を大内の御殿と取り繕うおかしみや、帝を慰めるために父が舞う万歳、息子の石子詰の刑の話。かねて蝦夷が隠していた神鏡の発見により、帝の眼が治るなどなどさまざまな技巧が凝らしてある。

出演 豊竹咲太夫、鶴澤清治、吉田蓑助、吉田和生 他

・チケット代 1等 7,300円

・定員 15名 (定員に達し次第締切) ・申込み締切 3月25日

☆ 国立能楽堂

○ 日時 6月27日(木) 開演 14:00

○ 場所 国立能楽堂

能楽鑑賞教室

演目 ・解説 能楽の楽しみ

・狂言 文山立(ふみやまだち) 大蔵基誠他 (大蔵流)

・能 船弁慶(ふなべんけい) 観世鍊之丞他 (観世流)

・チケット代 正面席 3,100円

・定員 15名 (定員に達し次第締切) ・申込み締切 4月25日

◎ お申し込み JAUW事務所 FAX:03-3358-2889 お問い合わせ 03-3358-2882